

会派名 新緑風会

支出調書


代表者	経理責任者	起案者

区分	事由	費目金額				小計	
1 調査研究費	行政調査(5/22~23) 市川市 富士宮市	交通費		旅費	55000	自動車燃料費	
		資料作成費		調査委託費		振込料	
2 研修費		会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	
		交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費		振込料	
3 広報費		会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
		振込料					
4 広聴費		会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		茶菓子代		振込料	
5 要請・陳情活動費		交通費		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
6 会議費		会場費		交通費		自動車燃料費	
		資料作成費		振込料			
7 資料作成費		印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
		振込料					
8 資料購入費		法規追録代		参考図書代		新聞(日刊紙)購読料	
		雑誌等購読料		有料データベース等利用料		振込料	
9 人件費		賃金		社会保険料等		振込料	
10 事務所費		備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
		印刷代		振込料		配送手数料	
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)	
		その他					
使用者	今村剛司	支出年月日	2019年4月25日	現金出納簿 支出番号	/	合計	55000円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 /

会派会長様



申請代表者氏名 今村岡司 

下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	55,000 円 (1人あたり 55,000 円) ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	行政調査	
用務先	市川市 船橋市	
内容	市川市 - 新住居の取組ミーティング 船橋市 - 打ち合わせミーティング	
期間	2019年 5月22日 ~ 2019年 5月23日 (1泊2日)	
行程	別紙行程表の通り	
出張(調査等)者氏名	今村岡司	
特記事項		

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者	受理日	2019年 4月25日
		許可日	2019年 4月25日
		支出日	2019年 4月25日

上記金額を受領しました。

2019年 4月25日

申請代表者氏名 今村岡司 

# 令和元年度 新緑風会行政調査行程表

## 1 行程

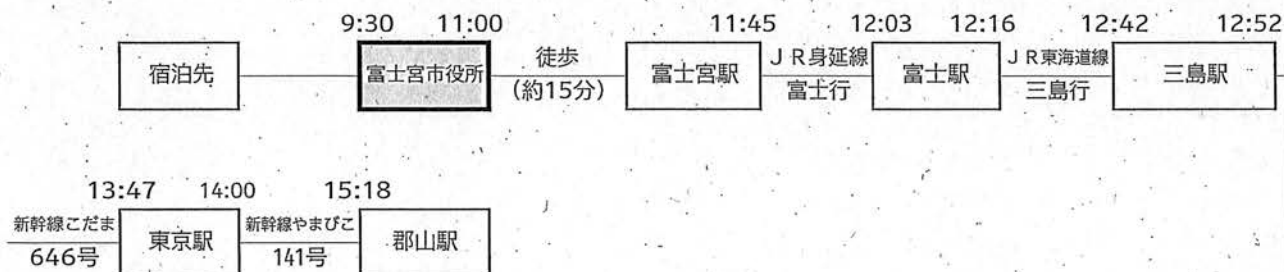
□ 1日目：令和元年5月22日（水）

市川市：移住定住の取り組みについて  
(子育て世帯同居・近居スタート応援について)



□ 1日目：令和元年5月23日（木）

富士宮市：おかえりなさいプロジェクトについて  
(移住定住促進事業について)



2 調査者 1 名

今村 剛司 議員

3 調査項目

- (1) 令和元年5月22日（水） 13:15~15:15  
千葉県 市川市  
・移住定住の取り組みについて  
(子育て世帯同居・近居スタート応援について)
- (2) 令和元年5月23日（木） 9:30~11:00  
静岡県富士宮市  
・おかえりなさいプロジェクトについて  
(移住定住促進事業について)

4 連絡先

○千葉県市川市議会事務局 (担当：タケダ様)  
〒272-8501 市原市南八幡2-20-2  
TEL 047-712-8673 FAX 047-712-8794

○静岡県富士宮市議会事務局 (担当：谷川様)  
〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地  
TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248

5 その他

# 行政調査旅費計算書

会派名 : 郡山市議会新緑風会

参加議員 : 今村 剛司 議員

日程 : 令和元年5月22日(水)～5月23日(木)

行先 : 市川市役所(千葉県市原市南八幡2-20-2)

富士宮市役所(静岡県富士宮市弓沢町150番地)

1日目①  
5/22(水)

郡山	東京	市川	本八幡	市川	東京	三島	富士	富士宮
(新幹線)					(新幹線)			
226.7	15.4	2.0	2.0	15.4	120.7	25.5	10.7	
運賃	4,430			3,020			7,450	
急行料金	3,680				2,250			5,930
グリーン	3,090							3,090
実費								0

2日目  
5/23(木)

富士宮	富士	三島	東京	郡山				
(新幹線)		(新幹線)	(新幹線)					
10.7	25.5	120.7	226.7					
運賃	6,480							6,480
急行料金		1,730	3,680					5,410
グリーン		2,750	3,090					5,840
実費								0

交通費 34,200 34,200

日当 3,000 × 2日 = 6,000

宿泊費 14,800 × 1泊 = 14,800

合計 55,000円 × 1人 = 55,000円

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号            /           

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・ 分村 剛司	印	・	印
・	印	・	印
・	印	・	印
・	印	・	印
・	印	・	印
・	印	・	印

記

期 間	2019年 5月 22日 ~ 2019年 5月 29日 (1泊2日)					
目 的	先進地行政調査					
用 務 先	千葉県市川市 研修施設の取組について 静岡県富士宮市 施設利用の取組について					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	別紙報告書のとおり。					
旅 費 精 算	受領額	55,000円	精算額	55,000円	返納額	0円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

会 派 会 長	経 理 責 任 者		受 理 日	2019年 5月 29日
印	印		確 認 日	2019年 5月 29日
			精 算 日	2019年 5月 29日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

# 令和元年度 新緑風会行政調査行程表

## 1 行程

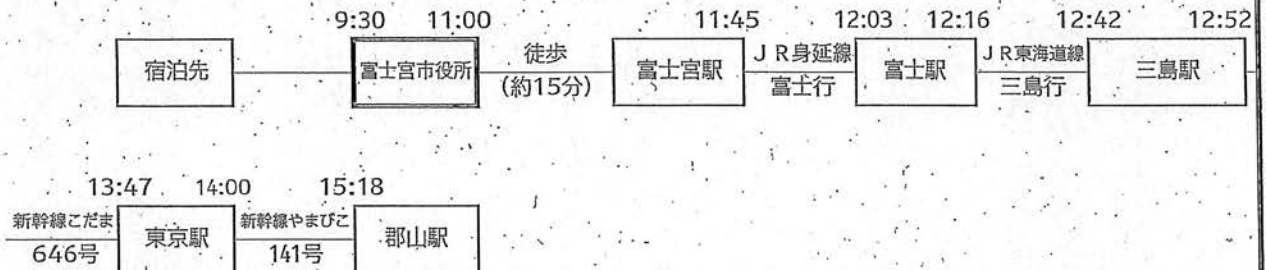
□ 1日目：令和元年5月22日（水）

市川市：移住定住の取り組みについて  
（子育て世帯同居・近居スタート応援について）



□ 1日目：令和元年5月23日（木）

富士宮市：おかえりなさいプロジェクトについて  
（移住定住促進事業について）



2 調査者 1 名

今村 剛司 議員

3 調査項目

- (1) 令和元年5月22日（水） 13：15～15:15  
千葉県 市川市  
・移住定住の取り組みについて  
（子育て世帯同居・近居スタート応援について）
- (2) 令和元年5月23日（木） 9：30～11:00  
静岡県富士宮市  
・おかえりなさいプロジェクトについて  
（移住定住促進事業について）

4 連絡先

○千葉県市川市議会事務局（担当：タケダ様）  
〒272-8501 市原市南八幡2-20-2  
TEL 047-712-8673 FAX 047-712-8794

○静岡県富士宮市議会事務局（担当：谷川様）  
〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地  
TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248

5 その他

# 新緑風会行政調査報告書

## 行政調査日

2019年5月22日 千葉県市川市

々 23日 静岡県富士宮市

## 調査内容

市川市 移住定住の取り組みについて

富士宮市 おかえりなさいプロジェクトについて

報告書者 今村剛司

◎調査項目 「移住定住の取り組みについて」

市川市が取り組んでいる「市川市子育て世帯同居・近居スタート応援補助金制度について、市川市子ども政策部 子育て支援課 課長 荒井義光様・主幹 長久保則之様 主任 飯田 貴大様より説明を受けました。

人口約49万人・世帯数約24万5千世帯で、近年10代後半から20代前半の若者世代は転出より転入が多くみられるようになり、一方で30代と40代前半、そして5歳未満の子供のいる、いわゆる子育て世代については転出が多い傾向になっている。また、子どものいる世帯の家族構成について、6歳未満の子どもがいる世帯では、約90%が核家族世帯となっている状況である。

このような状況のなかで、小学校就学前の子どものいる子育て世帯とその子どもの祖父母世帯が新たに同居・近居を開始するため、住宅の購入等を行う場合に、その費用の一部を上限額同居100万円、近居50万円を助成し、支援をする事業であります。平成30年度の実績は同居39件・近居42件でありました。また住宅金融支援機構のフラット35の利用促進について積極的に取り組み9件（H30実績）の利用があった。

近居の要件については、緊急時に駆け付けられる距離（直線で500M）で未就学児世帯がいる世帯となっている。

育児不安や孤立化をなくすために家族の支え合いができるように、子育て世帯をサポートしていくことが目的としております。

結びに、都市部の抱える問題を「子育て支援から」移住定住の取り組みについて勉強をさせていただきました。

ご多忙のなか調査にご協力いただきました、市川市議会事務局・担当部局の皆さんに御礼申し上げます。





市川市 こども政策部 子育て支援課  
課長

荒井 義光

あらい よしみつ



〒272-0021 千葉県市川市八幡3-4-1  
アクス本八幡2F

Tel: 047-711-0677 (直通)

Fax: 047-711-1754

E-mail: [REDACTED]

URL: <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>

いつも新しい流れがある 市川

市川市 こども政策部 子育て支援課  
主幹

長久保 則之

NAGAKUBO NORIYUKI

272-0021 千葉県市川市八幡3-4-1アクス本八幡2階

Tel: 047-711-0677 (直通)

Fax: 047-711-1754

E-mail: [REDACTED]

URL: <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>



いつも新しい流れがある 市川

市川市 こども政策部 子育て支援課  
主任

飯田 貴大

いいだ たかひろ

〒272-0021 千葉県市川市八幡3-4-1  
アクス本八幡2階

Tel: 047-711-0677 (直通)

Fax: 047-711-1754

E-mail: [REDACTED]

URL: <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>



市川市議会事務局

事務局長 植 草 耕 一

〒272-8501 千葉県市川市南八幡2丁目20番2号  
TEL 047(334)1111 内線4510 047(334)3759ダイヤルイン  
FAX 047(712)8794  
E-mail: [REDACTED]



市川市議会事務局  
議事課

課長 佐 藤 暢 一

〒272-8501 千葉県市川市南八幡2丁目20番2号  
TEL 047(334)1111 内線4521 047(334)3759ダイヤルイン  
FAX 047(712)8794  
E-mail: [REDACTED]

市川市 議会事務局 議事課  
主幹

熊 川 孝 弘

Kumagawa Takahiro

272-8501 千葉県市川市南八幡 2-20-2

Tel: 047-712-8673 (直通)

Fax: 047-712-8794

E-mail: [REDACTED]

URL: <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>



# 市川市役所 仮庁舎

Ichikawa City Hall Temporary Main Building



2019.05.22



2019.05.22



2019.05.22

## 郡山市行政調査

(調査者) 会派：新緑風会 今村 剛司議員

(調査項目) 子育て世帯同居・近居スタート応援について

### 【質問事項】

#### 1 子育て世帯同居・近居スタート応援事業の背景 (人口動態・人口区分の状況及び事業実施の経緯 等)

本市の人口の特徴として、年代別に見ますと、10代後半から20代、いわゆる若者世代は転出より転入が多く、特に20代前半ではその傾向が強く見られます。一方、30代と40代前半、そして5歳未満の子ども、いわゆる子育て世代につきましては転出が多いという状況になっています。

また、本市の子どもがいる世帯の家族構成について、6歳未満の子どもがいる世帯では、約90%が核家族世帯となっています。

平成26年11月の『まち・ひと・しごと創生法』の制定にもとづき、人口減少や急速な少子高齢化の進展といった課題に対応するため、まち・ひと・しごとの創生に向けた戦略として、平成28年3月23日付けで『市川市まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定いたしました。

この総合戦略のなかで、本市の将来人口を考えるうえで課題となっている『出生率の向上』『子育て世代の定住促進』に資する新たな子育て支援施策として、行政や地域による支援に加え、家族による支えあいのある生活を支援するため、多世代家族を応援する事業を開始することとなりました。

この事業の推進により、祖父母の知恵と支援によって安心して子育てができ、また祖父母と孫のふれあいが家族の支えあいの基盤となるような、多世代型の生活スタイルを応援するもの。

#### 2 事業の概要について

##### <事業の概要について>

小学校就学前の子どもがいる子育て世帯とその子どもの祖父母世帯があらたに同居・近居を開始するため、住宅の購入の購入等行う場合に、その費用の一部を上限額

同居 100 万円、近居 50 万円を助成し、支援を行います。

<令和元年度予算について>

同居・・・25 件分 25,000 千円

近居・・・50 件分 25,000 千円

<平成 30 年度の実績>

同居・・・39 件 39,000 千円

近居・・・42 件 21,000 千円

<フラット 35 の利用について>

9 件

<対象者要件設定について>

近距離要件・・・国土交通省が平成 18 年度に実施した近居の実態調査で、近居とは住居は異なるものの、日常的に往来ができる範囲に居住することを指すものとしております。緊急時に駆け付けられる距離を考慮し、範囲を直線距離で 500m としました。(一般的に「スープの冷めない距離」徒歩 5 分程度)

未就学児世帯・・・子育て支援課所管事業としていることから

3 協賛店舗のサービス内容等について

制度の趣旨に賛同し、タイアップをいただいた協賛店舗から「住宅価格の割引」「住宅ローンの金利優遇」などのサービスの提供を頂いております。

4 事業遂行上の課題と今後の展開について

課題については、一部の富裕層のみの制度ではないかとの意見もある。→育児不安や孤立化をなくすために家族の支え合いができるように、子育て世帯をサポートしていくことが目的。

今後の展開につきましては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけている事業であることから、今後も計画に基づいていくもの。

◎調査項目 「おかえりなさいプロジェクトについて」 移住定住促進事業

富士宮市が取り組んでいる、「おかえりなさいプロジェクトについて」企画部企画戦略地域政策推進室室長 佐野和也様 企画戦略課長 杉浦 真様 企画戦略課地域政策推進室 磯 貴紀様に説明をいただきました。

富士宮市の人口は平成22年の135,764人をピークに人口減少に転じ、平成27年には134,866人になり、大都市への転出や出生率の低下等により徐々に減少し、令和7年(平成37年)には、128,000人になると推計されています。このようななか人口減少に歯止めをかけるための取り組みとして「移住・定住促進事業」を第5次富士宮市総合計画で重点プロジェクトとして位置づけ取り組んでおります。

成人式などでふるさとに帰省したり、年度代わりで仕事や生活の環境が変わることが多い1月から3月までを「移住定住強化月間」として富士宮市に縁のある方のUターンを呼びかける「富士宮市・おかえりなさいプロジェクト」を実施する。写真にもあります「Uターンのススメ標識」等を成人式会場に設置し、富士宮市を離れている若者たちがUターンして富士宮市に住むことを考えるきっかけ作りをされている。


また、県外から市内に転入した、夫婦のいずれかが、40歳以下の世帯であれば移住定住奨励金を交付し、若者世帯の定住者を増やし、人口増に繋げる施策を実施しています。平成28年は8件8世帯31人・平成29年は9件9世帯32人・平成30年は17件17世帯55人の実績が報告されております。

また、中心地から離れた地区においては、子どもの数が減少しているため、子育て世帯に的を絞って定住政策を進めている地区が3カ所あります。

いずれも少子高齢化が進んでいて空き家が多く、地区を挙げて取り組み移住定住に関する情報を共有し、移住者同士が交流会を実施するなど広報活動報告書やホームページ等を開設し情報発信に努めています。

次に、移住者首都圏支援助成金については、首都圏に通勤する市内に住所を有する移住者に対し、「新幹線で首都圏内に通勤している方」「富士宮市から新富士駅まで在来線が通っていないため、自家用車を使う必要がある方」に新富士駅周辺の月極駐車場代を上限10万円・年を補助している。

今回の行政調査においては、都市部(市川市)と地方都市(富士宮市)において同じ課題を調査しましたが、いずれも少子化を克服する施策が急務であると感じました。本市においても連携中枢都市圏と連携を密にして「まち・ひと・しごと創生法」を基に総合的な計画を立てるべきと思います。

 富士宮市 企画部

企画戦略課長

杉 浦 真

Suglura

Makoto

〒418-8601  
富士宮市弓沢町150番地  
電話 0544-22-1111(代)  
Fax: 0544-22-1206  
E-mail: [REDACTED]

彩食見美  
「世界遺産富士山」のまち富士宮市



富士宮市 企画部  
企画戦略課 地域政策推進室

室長 佐野和也

〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地  
TEL 0544-22-1215  
FAX 0544-22-1206

E-mail: [REDACTED]



さくやちゃん



富士宮市

企画部 企画戦略課  
地域政策推進室

磯 貴紀

〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地  
TEL 0544-22-1215 FAX 0544-22-1206  
E-mail kikaku@city.fujinomiya.lg.jp



田貫湖からの富士山

世界遺産富士山にあるまち

富士宮市議会事務局  
事務局長



古郡和明

〒418-8601  
静岡県富士宮市弓沢町150番地

TEL (0544) 22-1191 (直通)  
FAX (0544) 22-1248  
E-mail:c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp



富士宮市議会事務局

庶務調査係 主査



谷川光基

〒418-8601  
静岡県富士宮市弓沢町150番地

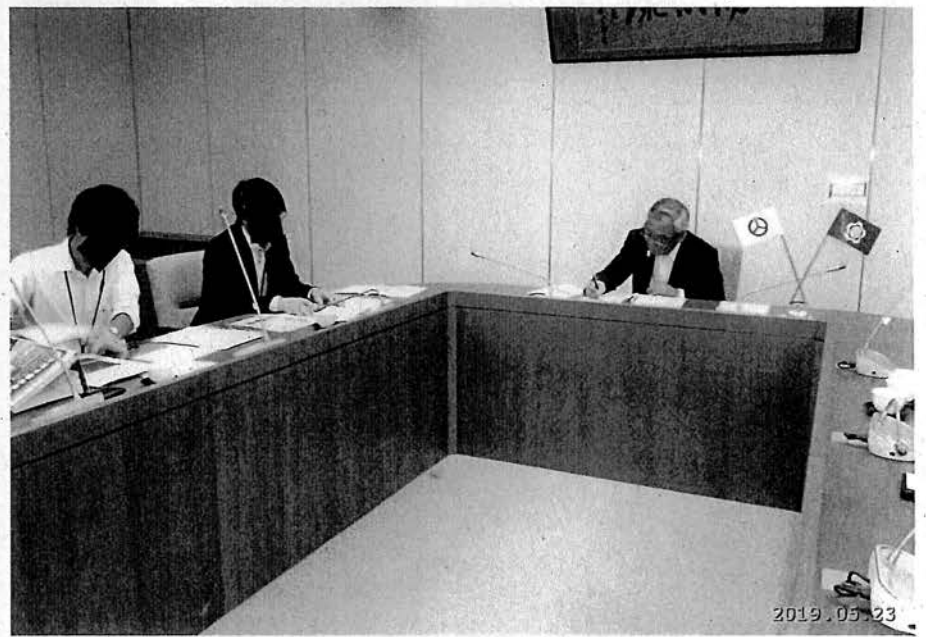
TEL (0544) 22-1191 (直通)  
FAX (0544) 22-1248

E-mail:c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp

彩食見美

「世界遺産富士山」のまち富士宮市







福島県郡山市議会 会派「新緑風会」

行政視察次第

日時：令和元年5月23日（木）

午前9時30分から

場所：市議会第1委員会室

1 開 会

2 歓迎のあいさつ 富士宮市議会事務局長

3 訪問のあいさつ 郡山市議会 新緑風会 今村剛司 様

4 出席者紹介

5 調査事項説明

おかえりなさいプロジェクトについて（移住定住促進事業について）

（富士宮市役所 企画部 企画戦略課 地域政策推進室）

6 質疑・意見交換

7 挨拶 郡山市議会 新緑風会 今村剛司 様

8 閉 会

## 1 事業の背景（人口動態及び事業実施の経緯 等）

### 【人口推移】

総人口は、平成22年の135,764人をピークに人口減少に転じ、平成27年には、134,866人になりました。今後も大都市への転出や出生数の低下等により徐々に減少し、令和7年（平成37年）には、128,000人になると推計されています。

今後、人口減少が予測される中で、人口減少対策に取り組み、人口減少を抑制することで、令和7年（平成37年）に131,200人の人口維持を目標としています。

そこで、人口減少対策の取り組みの一つとして、「移住・定住促進事業」を第5次富士宮市総合計画で重点プロジェクトとして位置づけ、様々な取り組みを行っています。

年	総人口	目標値
平成17年	135,678人（実績値）	—
平成22年	135,764人（実績値）	—
平成27年	134,866人（実績値）	—
令和2年 （平成32年）	132,200人（推計値）	133,400人
令和7年 （平成37年）	128,000人（推計値）	131,200人

※第5次富士宮市総合計画から抜粋。

133,586人

## 2 おかえりなさいプロジェクトの概要について

平成30年度、成人式などでふるさとへ帰省したり、年度替りで仕事や生活の環境が変わることが多い1月から3月までを「移住定住強化期間」として、富士宮市に縁のある方のUターンを呼びかける『富士宮市「おかえりなさい」プロジェクト』を実施しました。

このプロジェクトは、ウェブページやSNS、標識設置などにより、「移住定住強化期間」のキャンペーンを展開しました。

ウェブページでは、「いつでも帰ってこられるまち 富士宮市 『おかえりなさい』プロジェクト」という、富士宮市への移住、Uターンを呼びかける特設ページを開設しました。この特設ページでは、Uターンで富士宮市へ帰ってくる主人公を描いたアニメーションによる動画を公開するほか、富士宮市へのUターンをテーマとして不思議なキャラクターの登場する4コマ漫画をツイッターから配信しました。

また、進学等で市外へ転出した新成人に対して富士宮市へのUターンを呼びかけるため、成人式の会場に「Uターンのススメ標識」を設置しました。

さらに、市内の事業所にも協力をいただき、トラック広告を活用し、敷地内の駐車場に設置しました。

→「移住定住強化期間」の取り組みにより、進学や就職によって富士宮市を離れている若者たちがUターンして富士宮市に住むことを考えるきっかけになり、富士宮市への移住につながるきっかけを作りました。

### 3 移住定住奨励金について

#### 【事業概要について】

移住及び定住の促進による地域の活性化を図るため、市内に住宅を取得し、又は賃借する静岡県外からの移住者に対して、奨励金を交付し、若者世帯の静岡県からの定住者を増やし、人口増に繋げることを目的に実施をしています。

補助対象者	補助要件	補助額
県外から市内に転入した、夫婦のいずれかが40歳以下の世帯	【新築・中古住宅購入】 *首都圏からの移住 (東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)	120万円 (最大160万円)
	*県外からの移住	50万円 (最大90万円)
	【賃貸(一戸建て)】 *首都圏からの移住 (東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県) *空家対策を兼ねるもの(アパート等は対象外)	70万円 (最大110万円)
	*県外からの移住 市役所にて	30万円 (最大70万円)
	【加算】 *子ども加算(中学生以下)1人につき	10万円 (最大30万円)
	*受入地域加算(受入支援団体活動地区)	10万円

#### 【予算額の推移について】

年度	予算額
平成28年度	2,700万円
平成29年度	2,150万円
平成30年度	2,150万円
平成31年度・令和元年度	1,510万円

【実績について】令和元年5月23日現在

年度	首都圏からの 移住件数	静岡県外からの 移住件数	助成件数等
平成28年度	4件(440万円) 4世帯13人	4件(250万円) 4世帯18人	8件(690万円) 8世帯31人
平成29年度	4件(410万円) 4世帯10人	5件(330万円) 5世帯22人	9件(740万円) 9世帯32人
平成30年度	16件 (1,850万円) 16世帯50人	1件 (80万円) 1世帯5人	17件 (1,930万円) 17世帯55人
平成31年度 令和元年度	2件(200万円) 2世帯5人	0件	2件(200万円) 2世帯5人

#### 4 移住定住促進団体の取り組みについて

市が実施する移住定住事業と連携し、地域や自治会が中心となり、移住定住促進に取り組んでいる地区があり、市内には移住定住を推進する地区が3か所あります。市では、移住定住を推進する地区に上限10万円の補助金を出しています。

##### 【稲子地区】

- ・地域が中心となった移住定住の取り組みを平成20年から行っています。
- ・稲子地区では、地区にある稲子小学校の児童数の減少が進んだことから、児童数を増やすことを目的に、子育て世帯に的を絞った定住政策を進めています。
- ・年に3～4回程度、稲子地区定住推進委員会を開催し、移住定住に関する情報共有を実施しています。
- ・活性化ニュースの配布や移住者交流会の実施などにも取り組んでいます。

##### 【猪之頭地区】

- ・地域が中心となった移住定住の取り組みを平成28年から行っています。
- ・猪之頭地区では、地区にある井之頭小学校、井之頭中学校の児童数の減少が進んだことから、児童数を増やすことを目的に、子育て世帯に的を絞った定住政策を進めています。
- ・年に3～4回程度、猪之頭地区活性化推進委員会を開催し、移住定住に関する情報共有を実施しています。
- ・活性化ニュースの配布や移住者交流会の実施などにも取り組んでいます。

##### 【青木平区】

- ・自治会役員が中心となった移住定住の取り組みを平成30年から行っています。
- ・青木平区では、少子高齢化や担い手不足、空家の増加など、自治会活動を維持するための次世代の担い手確保を主な目的に定住政策を進めています。
- ・年に3～4回程度、自治会役員と移住定住に関する情報交換会を実施します。
- ・自治会独自のホームページを立ち上げ、移住定住に関する情報発信などにも取り組んでいます。

## 5 移住者首都圏支援助成金について

### 【事業概要について】

移住及び定住の促進による地域の活性化を図るため、首都圏に通勤する市内に住所を有する移住者に対し、助成金を交付し、首都圏からの定住者に対し、仕事を辞めることなく定住できるような支援を行うことによって、定住者を増やし、人口増に繋げることを目的に実施をしています。

補助対象者	補助要件	補助額
首都圏から市内に転入	・市内に住宅を新築し、または中古住宅を購入 ・東海道新幹線新富士駅を利用し、首都圏へ通勤 (首都圏は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)	新富士駅周辺の月極駐車場の契約額 (上限10万円/年)

### 【予算額と実績】令和元年5月23日現在

年度	予算額	助成件数等
平成28年度	100万円	0件
平成29年度	20万円	1件(10万円) 1世帯2人
平成30年度	20万円	3件(14万2千円) 3世帯8人
平成31年度・令和元年度	20万円	0件

### 【駐車場使用に限定した理由について】

「新幹線で首都圏内に通勤している方がいる」、「富士宮市から新富士駅までの間で在来線が通っていないため、自家用車にて向かうこととなる」など、首都圏内で仕事を続けながら、富士宮市に移住する方を支援するために制定しました。

## 6 事業遂行上の課題と今後の展開について

- ・ 情報提供の充実  
→ インターネットなどによる移住者・定住者向けの情報提供に取り組む。
- ・ 移住定住推進地域への支援  
→ 移住定住推進地域の特徴を生かした移住定住体験メニューの作成及び周知
- ・ 空家の活用  
→ インターネットにおいて、空家に関する情報提供に取り組む。
- ・ 首都圏などへのPR  
→ 東京などで開催される移住相談会への出展



いつでもUターン⇩できるまち

# 富士宮市

Uターンをする人、Uターンを考えている人を  
全力でサポートします。



おかえりなさいプロジェクト始動中!

富士宮市出身の皆様へ贈る  
「ただいまとおかえり」  
アニメーション公開中



webサイト

フシギな住人による  
「おかえりなさい」ストーリー  
4コマまんが公開中!



twitter

いつでもUターンできます



⇐ 移住定住サイト





ふじのみやにUターンする人を  
全力サポート!!

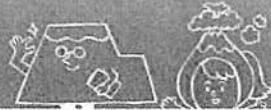


いつでも帰ってこられるまち 富士宮市

# 「おかえりなさい」 プロジェクト

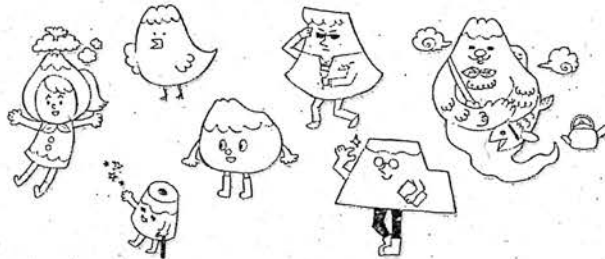


@fujinomiya\_life



## 4コマ「ふじのみやに帰ろう」

富士宮市の不思議な住人たちによる、ほくほかしい「おかえりなさい」物語。  
あなたの里心をダイレクトに刺激して、故郷を思い出さずにはられない。  
富士宮市出身の皆様におすすめ4コマ漫画を公式Twitterで配信中です。



キャラクター紹介

Twitterアカウントをフォロー

## 富士宮市Uターン標識

市内にはこんな標識を設置しています。  
「いつでも帰ってきてね」  
「いってらっしゃい」「おかえりなさい」  
色々な思いを込めた標識です。





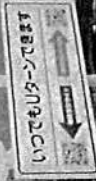
# 富士宮

富士山のふもとに  
住んでみませんか？

移住・定住を  
サポートします



いつでも  
Uターン  
できます



富士宮市  
移住・定住  
サポートセンター

TEL: 0544-22-1215

富士宮市  
移住・定住  
サポートセンター

TEL: 0544-22-1215



AD TRUCK

# 富士宮で暮らそう

富士宮市移住&定住ポータルサイト

fujinomiya life

“NEAR TOKYO”

東京都心まで約2時間、静岡市まで約1時間の富士宮市では、  
「美容院は東京に」「ちょっと静岡まで買いものに」といったことが日常茶飯事。  
都会からつかず離れずの「ちょうど良い田舎」です。

<http://www.fujinomiya-life.com>

富士宮ライフ

検索



WEBサイト



富士宮市への移住・定住で補助金が受けられます。

- 住宅を購入・空家一戸建てを賃借した場合、**最160万円** 支援
- 首都圏へ新幹線で通勤する場合、駅周辺駐車場使用料 **最10万円** 支援

稲子地区の定住推進事業の成果について  
(稲子小学校児童数がV字回復)

稲子地区移住者及び稲子小学校児童数の推移

	稲子地区移住者		稲子小学校
	世帯数	人数	児童数
平成20年度	0	0	7
平成21年度	3	7	7
平成22年度	0	0	5
平成23年度	1	1	6
平成24年度	0	0	5
平成25年度	1	1	5
平成26年度	1	3	6
平成27年度	1	4	10
平成28年度	1	3	12
平成29年度	2	4	13
平成30年度	1	1	15
平成31年度	—	—	17
計	11	24	—

- 稲子地区では、平成20年度から定住推進事業に取り組んでおり、大きな成果を生んでいる。
- 深刻化する少子高齢化を受けて、地元住民で組織する稲子地区定住推進委員会が市と連携して取り組んでいる。
- 定住推進事業のきっかけになったのは、稲子小の急激な児童数の減少。近年のピークだった平成5年度の63人から平成10年度には42人、平成15年度には22人、平成20年度には7人にまで落ち込んだ。
- 平成20年当時、全国的には、団塊世代の退職後のセカンドライフの受け皿として移住促進を進めることが多い中、稲子地区は、稲子小学校の児童数を増やすことを目的に、子育て世代に的を絞った定住推進事業を実施してきた。
- その結果、平成20年度の事業開始からこれまで、移住者は子育て世帯を中心に、11世帯24人を数え、新たに5人の子供が誕生した。
- 平成24年度に5人にまで減少した稲子小学校の児童数は、平成27年度には10人にまで倍増し、さらに、平成31年度には17人と3倍以上となった。

# 移住定住 青木平

富士宮市の西の山の上にある青木平は  
ゆったりと時間が流れる  
自然豊かな緑あふれる住宅地です。

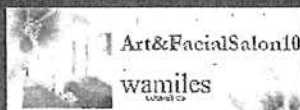
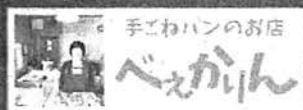
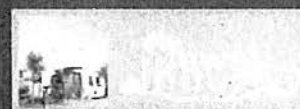
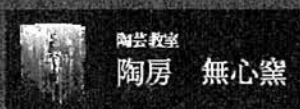
## 青木平に引っ越そう

青木平に引っ越して住むとお得がいっぱい！  
移住・定住奨励金が受けられます。

	住宅を取得した場合	空家住宅を賃貸した場合
首都圏（※1）からの移住の方	120万円（最大160万円）	70万円（最大110万円）
静岡県外からの移住の方	50万円（最大90万円）	30万円（最大70万円）

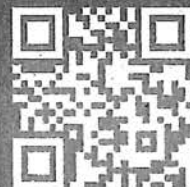
※1 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の1都3県

### 青木平にある小さなお店たち



青木平には子どもたちが安心して遊べる自然豊かな、より良い環境がございます。  
私たち青木平住民は、自然豊かできれいな住宅地、住んでみたい地区、  
若者が『楽しく安心して暮らせる』地区、お年寄りが『生きいき、楽しく暮らせる』地区、  
『助けあい、協力し合える優しい人達』の地区を目指しています。

お問合せはこちらから  
あおきだいらホームページ



<https://aokidaira.com/>